

平成26年2月 東京地区百貨店売上高概況

平成26年3月19日

I. 概況

1. 売上高総額	1,115億円余
2. 前年同月比	3.9% (店舗数調整後/7か月連続プラス)
3. 店頭・非店頭の増減	店頭3.7%(87.1%) : 非店頭5.3%(12.9%) ()内は店頭・非店頭の構成比
4. 調査対象百貨店	13社 25店 (平成26年1月対比±0店)
5. 総店舗面積	875,556㎡ (前年同月比:-3.8%)
6. 総従業員数	18,869人 (前年同月比:1.2%)
7. 3か月移動平均値	7-9月 2.3%、8-10月 3.3%、9-11月 2.9%、 10-12月 3.0%、11-1月 4.2%、12-2月 4.2%

[参考] 平成25年2月の売上高増減率は2.5% (店舗数調整後)

【2月売上の特徴】

- (1) 東京地区の2月の入店状況は、第2・第3と2週連続で週末大雪に見舞われたが、月の半ばからは、各店で期末セール等の活発な集客催事が展開されたことで、前年比2%程度の減少にとどまった。
- (2) 衣料品(-0.7%)は、月の前半まで冷え込みの影響で苦戦を強いられたが、天候が安定した中旬からは、駆け込み需要に対応して、例年より早めに展開がスタートしている春物アイテムに動きが見られた。
- (3) ラグジュアリーブランド(身のまわり品:+9.3%)、高級時計・宝飾品(美術・宝飾・貴金属:+30.5%)、呉服・高級寝具(その他衣料品:+11.2%)などの高額品については、降雪にも影響されず、いずれも全国水準を超えて大きな伸びを示した。
- (4) バレンタイン商戦は、多くの店で二桁増を記録するなど好調に推移したが、降雪による入店客数減の影響から、食料品(-0.3%)トータルでは前年を若干下回る結果となった。
- (5) 東京地区の3月中間段階までの商況は、消費税率引上げを目前にした駆け込み需要の高まりを受けて、概ね15%増で推移している。

【要因】

- (1) 営業日数増減 27.6日 (前年同月比±0.0日)
- (2) 入店客数増減 (回答店舗数で見る傾向値/前年同月比/有効回答数19店舗)
①増加した:3店、②変化なし:6店、③減少した:10店
- (3) 2月歳時記(バレンタインデー、節分、立春)の売上(同上/有効回答数17店舗)
①増加した:11店、②変化なし:5店、③減少した:1店

東京地区百貨店 売上高速報 2014年02月

※店舗数調整後 ()が調整前

	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%)
総 額	111,540,643	100.0	3.9 (3.0)
紳士服・洋品	7,666,168	6.9	-0.6 (-1.4)
婦人服・洋品	19,389,775	17.4	-1.9 (-3.1)
子供服・洋品	2,462,328	2.2	-2.3 (-2.4)
その他衣料品	2,370,696	2.1	11.2 (10.5)
衣 料 品	31,888,967	28.6	-0.7 (-1.8)
身のまわり品	16,011,248	14.4	9.3 (8.2)
化粧品	6,854,619	6.1	12.9 (12.7)
美術・宝飾・貴金属	7,823,620	7.0	30.5 (29.9)
その他雑貨	5,865,548	5.3	1.6 (1.5)
雑 貨	20,543,787	18.4	15.1 (14.9)
家具	2,019,570	1.8	3.4 (0.9)
家電	1,144,172	1.0	4.4
その他家庭用品	4,124,777	3.7	6.4 (6.2)
家庭用品	7,288,519	6.5	5.2 (4.4)
生鮮食品	4,194,927	3.8	1.0 (0.3)
菓子	10,049,541	9.0	-1.4 (-2.3)
惣菜	5,570,709	5.0	-3.0 (-3.8)
その他食料品	8,191,534	7.3	2.5 (2.1)
食 料 品	28,006,711	25.1	-0.3 (-1.0)
食堂 喫茶	2,590,563	2.3	-6.7 (-7.3)
サービス	2,136,246	1.9	8.9
そ の 他	3,074,602	2.8	2.1 (-1.9)

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。
本統計には消費税は含まれておりません。

対前年増減(-)率
(%)

商品券	1,870,338 千円	-14.0 (-14.5)
従業員数	18,869 人	1.2
店舗面積	875,556 m ²	-3.8

営業日数	27.6 日	前年	27.6 日
------	--------	----	--------

Ⅱ. 商品別の動き

主要5品目では、雑貨が12か月連続、身のまわり品が7か月連続、家庭用品が4か月連続のプラス。衣料品が4か月ぶり、食料品が5か月連続のマイナスとなった。また、化粧品が19か月連続、美術・宝飾・貴金属が14か月連続、その他衣料品、家具が4か月連続、その他家庭用品が3か月連続、その他雑貨、生鮮食品が2か月ぶり、家電が3か月ぶり、その他食料品が5か月ぶりのプラスとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
総額	3.9	—	7か月連続プラス
紳士服・洋品	-0.6	0.0	7か月ぶりマイナス
婦人服・洋品	-1.9	-0.3	4か月ぶりマイナス
子供服・洋品	-2.3	-0.1	5か月連続マイナス
その他衣料品	11.2	0.2	4か月連続プラス
衣料品	-0.7	-0.2	4か月ぶりマイナス
身のまわり品	9.3	1.3	7か月連続プラス
化粧品	12.9	0.7	19か月連続プラス*
美術・宝飾・貴金属	30.5	1.7	14か月連続プラス*
その他雑貨	1.6	0.1	2か月ぶりプラス*
雑貨	15.1	2.5	12か月連続プラス
家具	3.4	0.1	4か月連続プラス
家電	4.4	0.0	3か月ぶりプラス
その他家庭用品	6.4	0.2	3か月連続プラス
家庭用品	5.2	0.3	4か月連続プラス
生鮮食品	1.0	0.0	2か月ぶりプラス*
菓子	-1.4	-0.1	3か月ぶりマイナス*
惣菜	-3.0	-0.2	6か月連続マイナス*
その他食料品	2.5	0.2	5か月ぶりプラス*
食料品	-0.3	-0.1	5か月連続マイナス
食堂喫茶	-6.7	-0.2	4か月ぶりマイナス
サービス	8.9	0.2	3か月連続プラス
その他	2.1	0.1	2か月連続プラス
商品券	-14.0	-0.3	34か月連続マイナス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化した。

お問い合わせは、日本百貨店協会 森・西田まで
 TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>